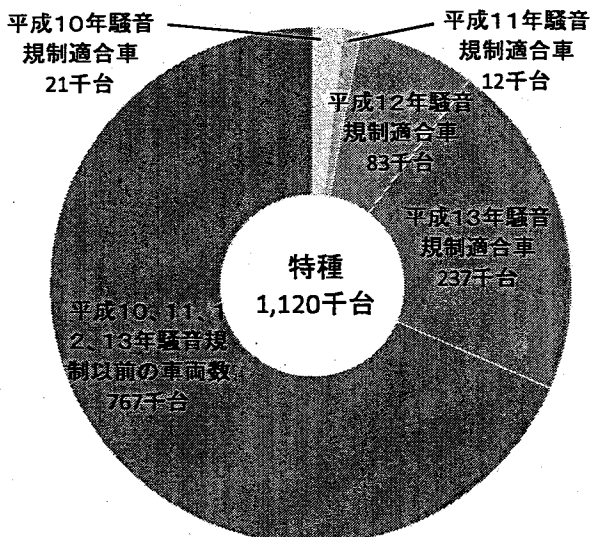
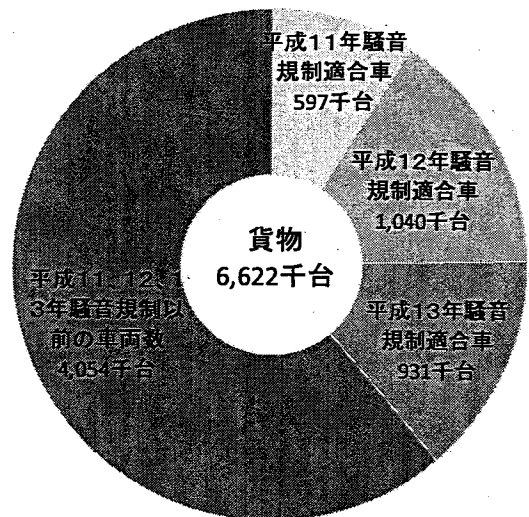
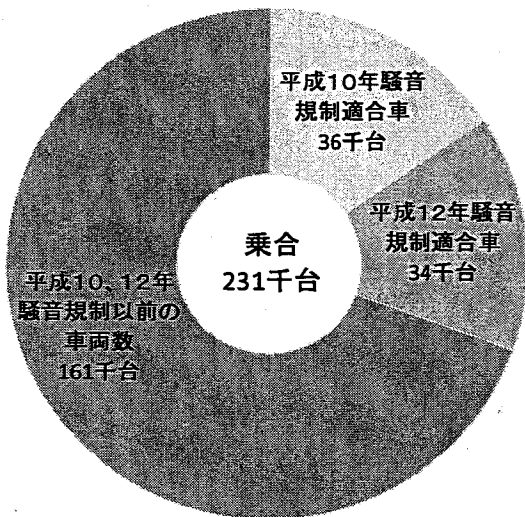
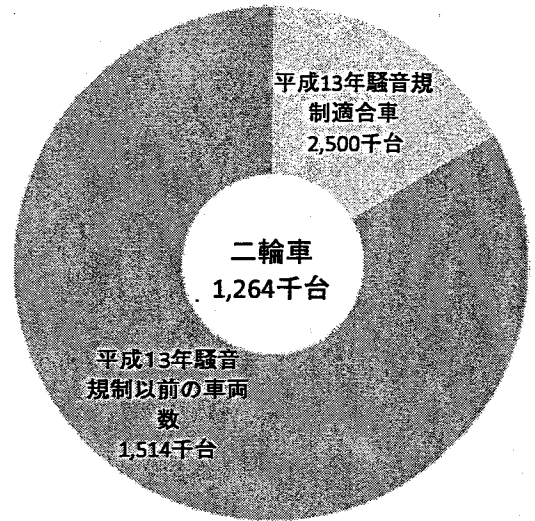
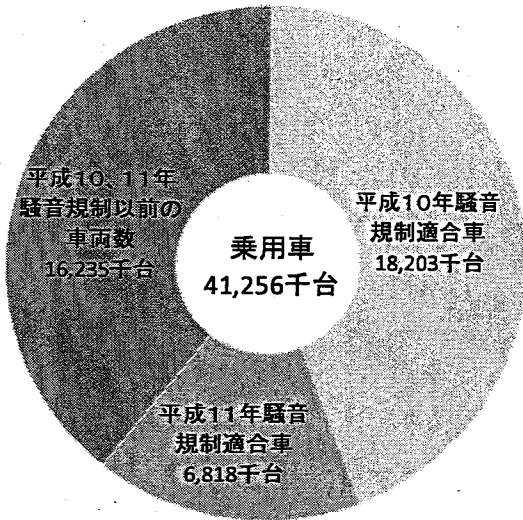


5. 自動車の保有車両と騒音規制適合車の割合(登録自動車)

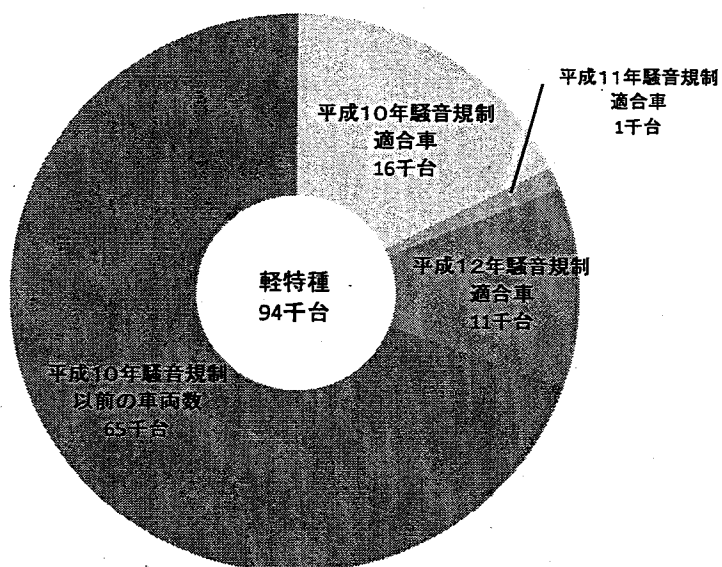
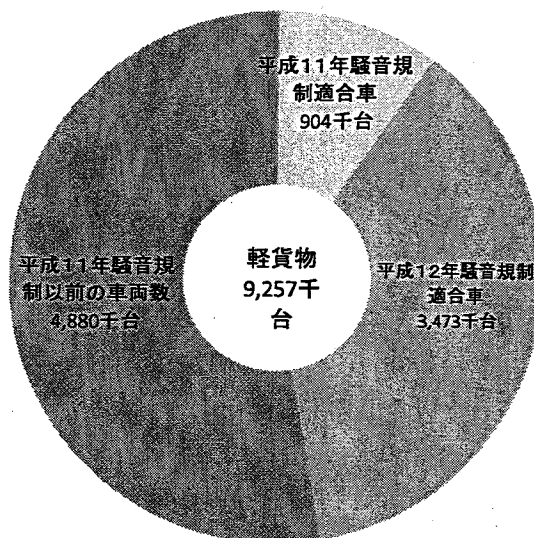
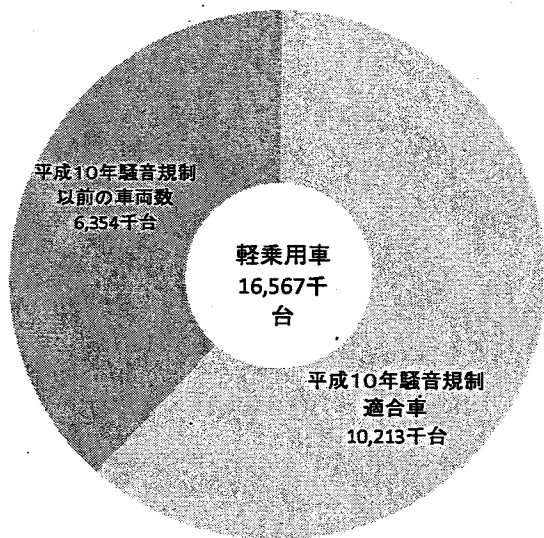
平成20年9月末日現在の保有車両数



出典：国土交通省資料より作成

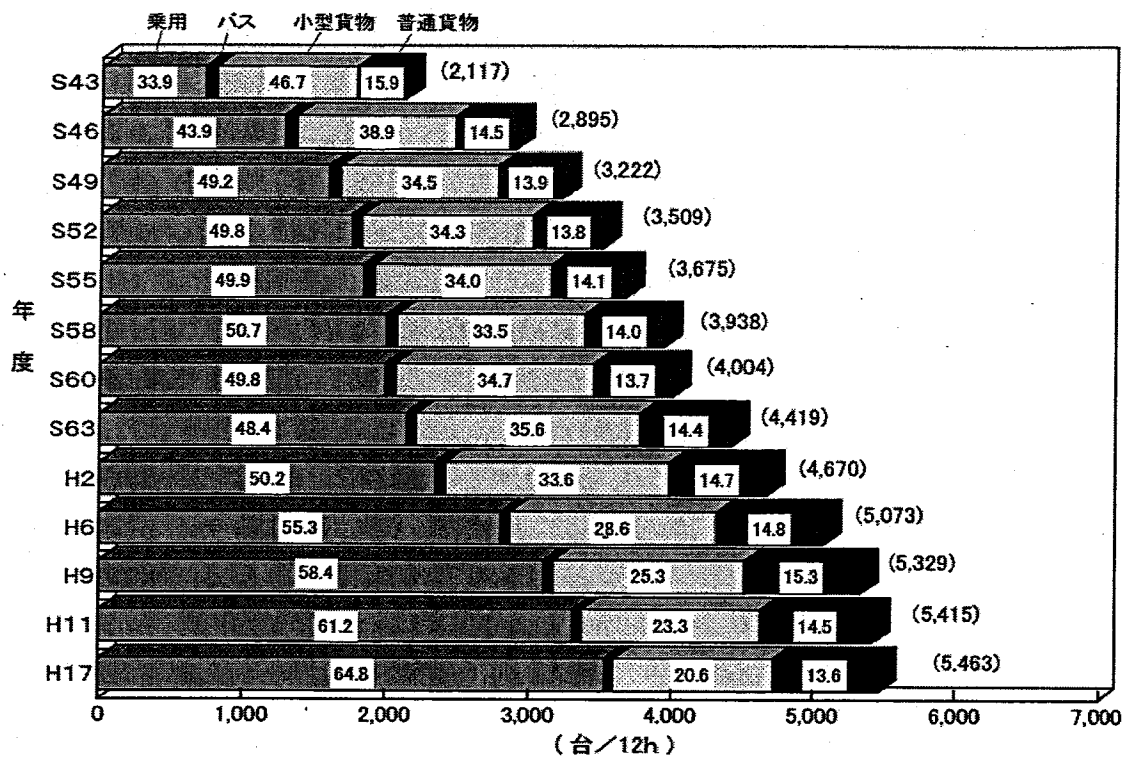
自動車の保有車両と騒音規制適合車の割合(軽自動車)

平成20年9月末日現在の保有車両数



出典：軽自動車検査協会資料より作成

6. 車種別12時間平均交通量の推移



<資料> 国土交通省「道路交通センサス」(各年度)による平日値
 注) 1. 昭和55年度以降の平均交通量は交通不能区間を除いた延長に対するものである。
 2. 図中の車種別の数値は構成比で単位は%である。
 3. ()内は4車種合計の平均交通量である。

車種別12時間平均交通量の推移〔一般道路計〕

年度	乗用車		バス		小型貨物車		普通貨物車		合計	
	(台/12h)	(%)	(台/12h)	(%)	(台/12h)	(%)	(台/12h)	(%)	(台/12h)	(%)
S43	718	33.9	74	3.5	989	46.7	337	15.9	2,117	100.0
46	1,271	43.9	79	2.7	1,127	38.9	418	14.5	2,895	100.0
49	1,586	49.2	78	2.4	1,111	34.5	446	13.9	3,222	100.0
52	1,746	49.8	73	2.1	1,205	34.3	485	13.8	3,509	100.0
55	1,834	49.9	71	1.9	1,249	34.0	520	14.1	3,675	100.0
58	1,998	50.7	72	1.8	1,318	33.5	550	14.0	3,938	100.0
60	1,995	49.8	67	1.7	1,391	34.7	550	13.7	4,004	100.0
63	2,141	48.4	68	1.5	1,574	35.6	636	14.4	4,419	100.0
H2	2,346	50.2	68	1.5	1,571	33.6	686	14.7	4,670	100.0
6	2,807	55.3	62	1.2	1,451	28.6	753	14.8	5,073	100.0
9	3,110	58.4	60	1.1	1,346	25.3	814	15.3	5,329	100.0
11	3,312	61.2	60	1.1	1,260	23.3	784	14.5	5,415	100.0
17	3,540	64.8	58	1.1	1,125	20.6	741	13.6	5,463	100.0

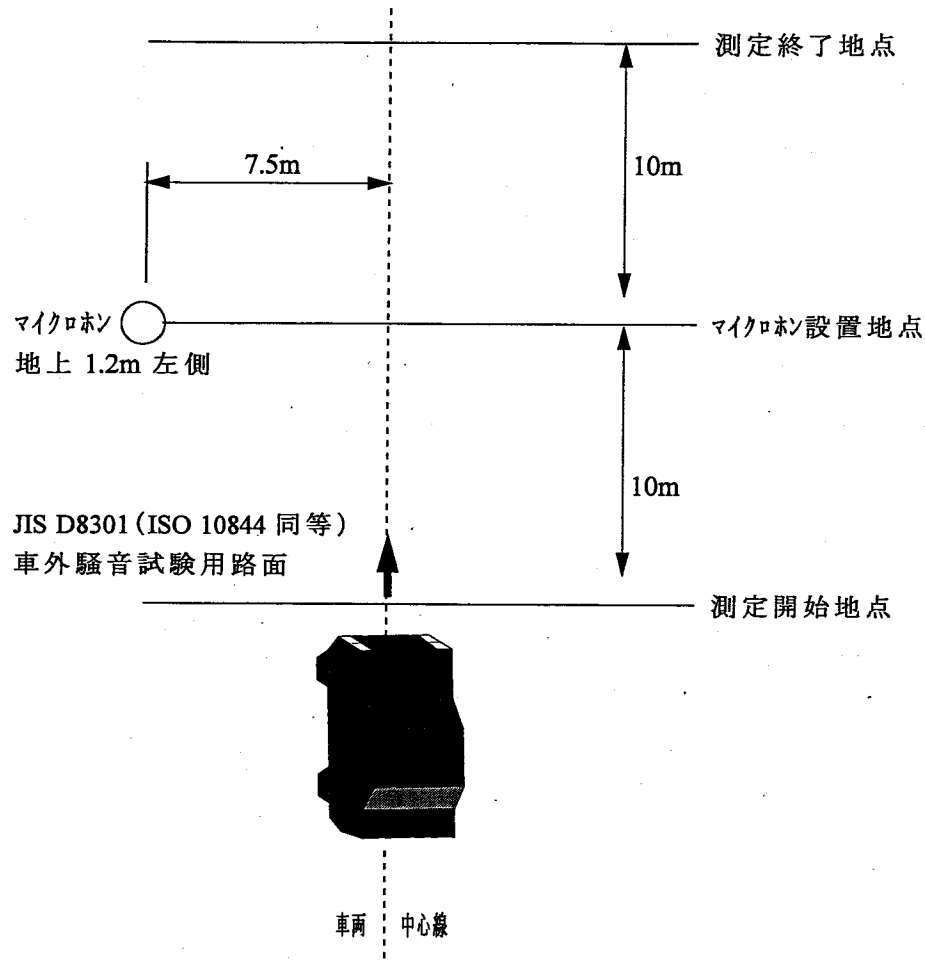
<資料> 国土交通省「道路交通センサス」(各年度)による平日値
 注) 昭和55年度以降の平均交通量は交通不能区間を除いた延長に対するものである。

車種別12時間平均交通量の推移〔一般道路計〕

7. 現在の自動車騒音測定方法

自動車に係る騒音規制は、最も騒音の大きい加速時に発生する騒音を対象とした加速走行騒音、通常の定常走行時に発生する騒音を対象とした定常走行騒音、停車時にマフラーから発生する騒音を対象とした継続検査や街頭検査での測定に適した近接排気騒音の3種類の測定方法による規制を行っている。

① 加速走行騒音、定常走行騒音



【加速走行騒音測定 of 進入速度】

測定開始地点からはフル加速。

車種	進入速度
四輪車・小型二輪車	50 km/h
軽二輪車・原付第二種	40 km/h
原付第一種	25 km/h

ただし、原動機の最高出力時の回転数の75%の回転数で走行した場合の速度が、上記の速度に満たない車両にあっては、その速度とする。

【定常走行騒音測定 of 走行速度】

車種	走行速度
四輪車・小型二輪車	50 km/h
軽二輪車・原付第二種	40 km/h
原付第一種	25 km/h

ただし、原動機の最高出力時の回転数の60%の回転数で走行した場合の速度が、上記の速度に満たない車両にあっては、その速度とする。

自動車騒音測定方法（加速走行及び定常走行騒音）

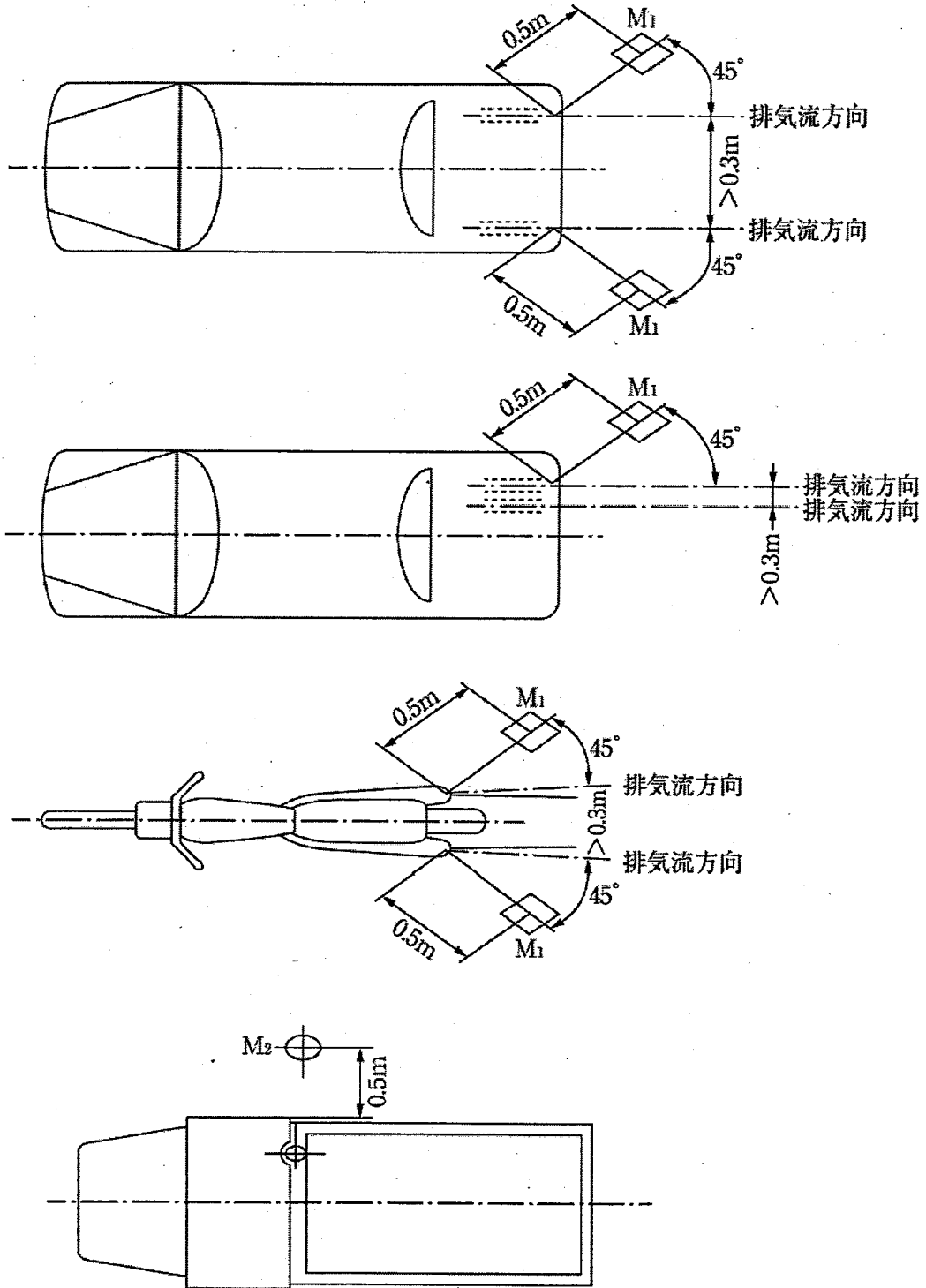
② 近接排気騒音

一定の原動機回転数において、排気管からの排気流の方向に対し 45 度、排気管の開口部中心から 0.5 m 離れた位置の排気管の高さで測定する。

・原動機の回転数

【四輪車】：最高出力時の回転数の 75 % の回転数

【二輪車】：最高出力時の回転数が 5,000 回転を超える場合は、最高出力時の回転数の 50 % の回転数（その他の場合は 75 % の回転数）



排気管の開口部が上向きの場合を示す

自動車騒音測定方法（近接排気騒音）

8. 自動車騒音規制の経緯

(単位: デシベル)

自動車の種別			定常走行騒音			排気騒音		近接排気騒音		加速走行騒音				
			規 制 年			規 制 年		規 制 年		規 制 年				
			26年規制	46年規制	10~13年規制	26年規制	46年規制	61~元年規制	10~13年規制	46年規制	51・52年規制	54年規制	57~62年規制	10~13年規制
大型車	車両総重量が3.5トンを超え、原動機の最高出力が150キロワットを超えるもの	全輪駆動車、トラック及びクレーン車	80 (84.0)	83 [平成13年] 《△1.0》	80	107 [元年]	[平成13年]	92	89	86	83	82 [平成13年] 《△1》		
		トラック		[平成13年]			99 [平成13年] 《△8》					81 [平成10年] 《△2》		
		バス		[平成10年] 《△2.0》										
中型車	車両総重量が3.5トンを超え、原動機の最高出力が150キロワット以下のもの	全輪駆動車	78 (82.0)	80 [平成13年] 《△2.0》	78	105 [元年]	[平成13年]	89	87	86	83	81 [平成13年] 《△2》		
		トラック		[平成13年]			98 [平成13年] 《△7》 [平成12年]					80 [平成13年] 《△3》 [平成12年]		
		バス		[平成12年] 《△3.0》 [平成12年]										
小型車	車両総重量が3.5トン以下のもの	軽自動車 1.7t<GVW 以外 GVW≤1.7t	85	[平成12年] [平成11年]	85	74	103 [元年]	[平成12年] [平成11年]	85	83	81	全輪駆動車 [60年]		
		軽自動車 キャブオーバー ボネット		[平成12年] [平成11年]				[平成12年] [平成11年]				78 トラック・バス [59年]	76 [平成12年] [平成11年]	
乗用車	専ら乗用の用に供する乗車定員10人以下のもの	乗車定員6人超	70 (74.0)	[平成11年]	70	103 [63年]	[平成11年]	96 (100) 《△7》 《△3》 [平成10年]	84	82	81	78	[平成11年]	
		乗車定員6人以下		[平成10年] 《△2.0》			[平成10年]						[52年]	[57年]
二輪自動車	二輪の小型自動車(総排気量0.250ℓを超えるもの)及び二輪の軽自動車(総排気量0.125ℓを超え0.250ℓ以下のもの)	小型	(78.1)	72 [平成13年] 《△6.1》	74	99 [61年]	[平成13年] 《△5》	86	83	78	75	[平成13年]		
		軽	(75.1)	71 [平成10年] 《△4.1》			[平成10年] 《△5》					[51年]	[60年]	73 [平成10年] 《△2》
原動機付自転車	第二種原動機付自転車(総排気量0.050ℓを超え、0.125ℓ以下のもの)及び第一種原動機付自転車(総排気量0.050ℓ以下のもの)	第二種	(71.1)	68 [平成13年] 《△3.1》	70 (69.6)	95 [61年]	[平成13年] 《△5》	82	79	75	72	[平成13年]		
		第一種	(69.6)	65 [平成10年] 《△4.6》			[平成10年] 《△11》					[51年]	[59年]	71 [平成10年] 《△1》
使用過程車	全 車		85	85	85	85	85	新車と同一	新車と同一					

(注) 1. 定常走行騒音の46年規制の欄中 () 内の数値は、測定速度及び測定位置の変更による現行規制値の換算値を示す。

2. [] 内は、規制年を示す。

3. 《 》内は、定常走行騒音にあっては旧規制値の換算値からの削減量、近接排気騒音及び加速走行騒音にあっては旧規制値からの削減量を示す。

4. 〈 〉内は、リヤエンジン車を示す。

5. 元年規制以前については、「150キロワット」を「200馬力」と読み替える。

6. 近接排気騒音規制は、排気騒音規制に替えて導入された。

7. 近接排気騒音の規制値の欄中、使用過程車についての「新車と同一」とは、車種ごとに新車時に適用された数値と同じ数値が、その車在使用過程に入った段階においても適用されることを示す。

